

平成 30 年度八戸市復興計画推進市民委員会意見への対応状況 (平成 31 年 4 月末現在)

2. 地域経済の再興

市では平成 30 年度に八戸市復興計画推進市民委員会を 4 回開催し、委員の皆様から御意見をいただきました。

本資料は、「2. 地域経済の再興」への御意見に対する平成 31 年 4 月末現在の市の対応状況についてとりまとめたものです。

なお、対応状況は、下記区分のとおりです。

【対応状況の区分】

○＝意見を踏まえ対応に努めている、対応を予定している

△＝意見を参考に検討段階

×＝意見への対応が難しい

復興計画全体に関する総括意見

No.	意見の内容		【担当課】
	対応状況	対応内容	
1	各対応状況 のとおり	<p>「地域経済の再興」については、関連企業等の連携強化により、水産物や畜産物における収益性の高い産業モデルの構築に取り組むとともに、八戸のイカ・サバの県外へ向けた PR 活動の強化や訪日外国人旅行客の受入体制の強化、八戸三社大祭の伝統・文化、魅力を発信するための長期ビジョンの策定、山車製作・展示場所の整備に取り組むこと。</p> <p>◎水産物や畜産物における収益性の高い産業モデルの構築について 【水産事務所】意見No.8 で回答 【農林畜産課】意見No.11 で回答 【農業経営振興センター】意見No.11 で回答</p> <p>◎イカ・サバの県外へ向けた PR 活動の強化について 【水産事務所】意見No.7 で回答</p> <p>◎訪日外国人旅行客の受入体制の強化について 【観光課】意見No.15 で回答</p> <p>◎八戸三社大祭の伝統・文化、魅力を発信するための長期ビジョンの策定について 【観光課】意見No.14 で回答</p> <p>◎山車製作・展示場所の整備について 【観光課】意見No.13 で回答</p>	<p>【水産事務所】 【農林畜産課】 【農業経営振興センター】 【観光課】</p>

復興計画に掲げた4つの基本方向ごとの意見

2 「地域経済の再興」に関する意見

No.	意見の内容		【担当課】
	対応状況	対応内容	
2	<p>水産業の再興については、国内外において競争力の高い水産物の供給体制を確立するため、関連企業の連携を強化し、弱点や隘路を打開するための取組を進め、生産から流通に至る産業モデルの構築を図るとともに、八戸のイカ・サバの知名度・ブランド力を高めるため、県外へ向けたPR活動を強化する必要がある。</p>		【水産事務所】
	各対応状況 のとおり	<p>◎競争力の高い水産物の供給体制を確立するための生産から流通に至る産業モデルの構築について 意見No.8で回答</p> <p>◎イカ・サバの知名度・ブランド力を高めるためのPR活動の強化について 意見No.7で回答</p>	
3	<p>農林畜産業の再興については、八戸地域畜産関連産業振興ビジョンの具現化に向けた推進体制の組織化や具体的行動計画の策定を進めるとともに、環境アセスメントに係る要件緩和を継続して県に要望するほか、食肉や鶏卵等を原料に扱う加工品製造業者との連携を促進し、収益性の高い産業モデルの構築に取り組む必要がある。</p>		【農林畜産課】 【農業経営振興センター】
	各対応状況 のとおり	<p>◎八戸地域畜産関連産業振興ビジョンの具現化に向けた推進体制の組織化や具体的行動計画の策定について 意見No.10で回答</p> <p>◎環境アセスメントに係る要件緩和の要望について 意見No.12で回答</p> <p>◎収益性の高い産業モデルの構築について 意見No.11で回答</p>	
4	<p>観光・サービス業の再興については、増加する訪日外国人旅行者の受入体制を強化するため、宿泊施設等の環境整備への財政支援やおもてなしの充実に向けた関係機関の連携を強化する必要がある。</p>		【観光課】
	各対応状況 のとおり	<p>◎訪日外国人旅行者の受入体制を強化するための環境整備への財政支援について 意見No.15で回答</p> <p>◎おもてなしの充実に向けた関係機関の連携強化について 意見No.15で回答</p>	

No.	意見の内容		【担当課】
	対応状況	対応内容	
5		<p>ユネスコ無形文化遺産に登録された八戸三社大祭について、伝統・文化の継承と観光資源としての発展的活用を目的とした長期ビジョンを関係者間で策定・共有し、一体となって課題解決に取り組むとともに、現在計画されている山車製作・展示場所の整備について、製作場所確保の問題を抱える山車組の解消はもとより、祭りを後世に継承し、その魅力を積極的に内外へ発信する機能を有する施設として、発祥から300年の節目に当たる2020年度を目途に整備する必要がある。</p>	【観光課】
	△	<p>◎八戸三社大祭の伝統・文化の継承と観光資源としての発展的活用を目的とした長期ビジョンの策定について 意見No.14で回答</p> <p>◎祭りを後世に継承し、魅力を発信する機能を有する山車製作・展示場所の整備について 意見No.13で回答</p>	
6		<p>風評被害の防止については、放射性物質に係る監視体制を維持し、安全情報を適切に発信するなど、不安の払拭に最大限努める必要がある。</p>	【水産事務所】
	○	<p>意見No.16で回答</p>	

個別の施策・事業に対する意見

2 「地域経済の再興」

(1) 水産業の再興

No.	意見の内容		【担当課】
	対応状況	対応内容	
7		八戸のイカやサバの知名度・ブランド力を高めるため、県外へ向けて、観光等も視野に入れたより分かりやすい形でのPRに取り組む必要がある。	【水産事務所】
	○	毎年度8月10日に「イカの日」としてPRイベントを実施しているほか、本年度はサバのPRイベントとして、全国的イベントである「鯖サミット 2019」を誘致し、11月2日、3日に実施する予定です。	
8		国際競争力のある水産物の供給体制の確立に向け、課題や具体的なロードマップを市民に示して理解を得るとともに、関連企業の連携を強化し、弱点や隘路を打開するための取組を進め、生産から流通に至る産業モデルの構築を図る必要がある。	【水産事務所】
	△	産業モデルの構築に向けては、水産業界全体で取り組む課題であると認識しているので、機会を捉えて協議していくよう検討していきます。	

(2) 農林畜産業の再興

No.	意見の内容		【担当課】
	対応状況	対応内容	
9		環境保全型農業の普及を一層促進するため、学校給食への積極的活用を推進し、供給機会の拡大を図る必要がある。	【学校教育課】
	△	<ul style="list-style-type: none"> 学校給食では、あらかじめ献立を決定しておく必要があります。限定した食材の場合、特に天候によって収穫時期が左右される野菜の使用については、納入時期や数量が確実な一次加工品が望ましいところです。 季節毎に調達可能な食材の種類、一次加工品の有無、量や価格を勘案した結果、現行の調達方法では対応が難しい状況ではありますが、新たな方策について、農業担当部局とも協議しながら研究してまいります。 	
10		八戸地域畜産関連産業振興ビジョンの推進体制の組織化と具体的行動計画の策定を進め、ビジョン具現化の取組を推進する必要がある。	【農林畜産課】
	○	現時点でビジョンの行動計画は作成しておりませんが、平成30年8月に「八戸地域畜産振興推進会議」を設置して、ビジョンの進行管理をしており、具体的行動についても会議において協議しております。	

No.	意見の内容		【担当課】
	対応状況	対応内容	
11	農・畜産物のブランド化はもとより、高付加価値の製品開発を促進し、収益性の高い産業モデルの構築に取り組む必要がある。		【農林畜産課】 【農業経営振興センター】
	△	<p>【農林畜産課】</p> <p>畜産物(特に鶏、豚)については、企業間の商取引によって、生産から流通、販売までの生産工程が確立されている状況にあります。また、乳用牛や肉用牛については、家族経営体が多く、それぞれ生乳、肉用子牛を出荷する経営となっています。</p> <p>このことから、現状では高付加価値の製品開発の促進や、収益性の高い産業モデルの構築は難しい状況ではありますが、他事例の情報収集など、今後の可能性について研究してまいります。</p>	
	○	<p>【農業経営振興センター】</p> <p>八戸いちごやワイン用ぶどう等の農産物については、八戸菓子商工業組合や八戸ワイン生産事業者等商工業者との連携による6次産業化を促進しており、それぞれの強みを生かした新たな価値の創出を支援しています。</p>	
12	環境への配慮と畜産振興の両方にバランスの取れた環境アセスメントの実現に向け、近隣他県の基準等を示しながら、県に対し要件緩和の要望を継続する必要がある。		【農林畜産課】
	○	<p>環境への配慮と畜産振興の両方にバランスの取れた環境アセスメントの実現は、畜産振興を図る上で重要であることから、畜産施設に係る青森県環境影響評価条例の規模要件の緩和を県への重点要望事項に位置付けており、平成30年7月に県へ要望したほか、今年度も要望することとしております。</p>	

(4) 観光・サービス業の再興

No.	意見の内容		【担当課】
	対応状況	対応内容	
13	旧柏崎小学校跡地に整備する八戸三社大祭の山車製作・展示場所については、現在、東部終末処理場内の敷地を借用している4山車組のみならず、製作場所の確保に苦慮している他の山車組の利用も想定しつつ、観光展示機能を有し、ミュージアム施設を併設した場所として、発祥から300年の節目に当たる2020年度を目途に整備する必要がある。		【観光課】
	△	<p>現在、旧柏崎小学校跡地広場整備事業について、地域と協議しながら基本設計の策定を進めており、その中で検討して参ります。</p>	
14	八戸三社大祭の伝統・文化の継承と観光資源としての発展的活用を目的とした長期ビジョンを関係者間で策定・共有し、一体となって課題解決に取り組む必要がある。		【観光課】
	△	<p>八戸三社大祭運営委員会企画推進部会において三社大祭の諸問題について協議を行っており、引き続き同部会において、検討を進めて参ります。(平成28年度より継続)</p>	

No.	意見の内容		【担当課】
	対応状況	対応内容	
15		訪日外国人旅行者の受入体制を整備・強化するため、ホテル等宿泊施設における Wi-Fi 整備や禁煙化等に対する財政支援と併せ、おもてなしの充実に向けた関係機関の連携を強化する必要がある。	【観光課】
	△	◎ホテル等宿泊施設における Wi-Fi 整備や禁煙化等に対する財政支援について 基本的には、ホテル等の宿泊事業者が、それぞれ整備を行うべきと考えますが、国や県などの補助制度等の情報収集に努め、積極的に周知を行います。	
	○	◎おもてなしの充実に向けた関係機関の連携強化について 【DMO「VISITはちのへ」移管事業】 地域 DMO である「(一財)VISIT はちのへ」は、八食センターと連携協定を締結しインバウンド誘客に取り組んでいるほか、ホテルや集客施設等多様な関係者で構成されるインバウンド部会を設置し連携を強化しているため、(一財)VISIT はちのへとの連携により取り組んで参ります。	

(5) 風評被害の防止

No.	意見の内容		【担当課】
	対応状況	対応内容	
16		風評被害が存続している間は放射性物質に係る監視体制を維持するとともに、必要に応じて徹底したキャンペーン等を実施し、不安の払拭に努める必要がある。	【水産事務所】
	○	週1回、市独自にマダラ及びマサバの簡易検査を実施し、結果をホームページで公表しております。	